

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	キンゼミⅡ	(フリガナ)	タワラ ヒサノブ・イトウ ヨウジュ
授業科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	俵 尚申・伊藤 陽寿
英文授業科目名	Basic seminar Ⅱ		
基準年次(開講期)	1年(後期)	履修形態	必修
曜日/時限/講義室	木1限, 木3限, 金1限, 金2限/浅草		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	演習
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	日本企業、ビジネスマナー(礼儀・挨拶)、学生生活、学習プラン、予習・復習、セレンディビティ、日本文化		
授業概要・目的	4年間の学生生活を有意義に過ごすために、大学での授業(単位取得)と併せ、卒業後の進路の準備(実質3年間)とする基礎・基盤をこの一年次に養い、と同時に専門演習・卒業研究の心構えとする学習習慣の構築を主たる目的とする。		
到達度評価の評価項目	学生便覧に記載されている各種「ルール」が理解できるようになる。 日本のビジネスマナーを背景とする「挨拶」をはじめ、日本文化の理解・実践ができるようになる。 専門演習・卒業研究および就職活動準備を背景に、基礎学力の養成として「日本語」(ひらがな、カタカナ、漢字)の練習課題を毎週提出する。出席状況(参加、取組状況、マナーなど)		
授 業 計 画			
第1回	ガイダンス 受講ルール、履修申請、評価基準等の説明		
第2回	在籍確認動静表記入、後期履修登録について 9月の在籍確認動静表を記入し、後期の履修申請と4年計画について再度解説する。		
第3回	大学生としての基礎認識・姿勢①、日本語理解度チェック 日々の勉強の仕方、日本語練習課題の提出		
第4回	大学生としての基礎認識・姿勢② 理解度確認、日本語練習課題の提出		
第5回	自己分析、エントリーシートについて①を概説する。 自己分析の作成、日本語練習課題の提出		
第6回	自己分析、エントリーシートについて②を概説する。 エントリーシートの作成、日本語練習課題の提出		
第7回	在籍確認動静表記入、目標の設定および学習計画の作成① 11月の在籍確認動静表を記入、日本語練習課題の提出		
第8回	目標の設定および学習計画の作成② 強化すべき項目の抽出と達成させるための学習計画、日本語練習課題の提出、		
第9回	社会的活動について① 社会的活動の必要性、能力と人間性(バランスの取れた人材とは)日本語練習課題の提出		
第10回	社会的活動について②、在籍確認動静表記入、 12月の在籍確認動静表を記入、日本語練習課題の提出		
第11回	日本文化と基礎学力①(基礎漢字) 漢字の書き取り、日本語練習課題の提出		
第12回	日本文化と基礎学力②(基礎漢字) 漢字理解度チェック、日本語練習課題の提出		
第13回	日本文化と基礎学力③(文章の作成)手紙、在籍確認動静表記入 1月の在籍確認動静表を記入、日本語練習課題の提出		
第14回	日本文化と基礎学力④(文章の作成)自己紹介 日本語練習課題の提出		
第15回	まとめ 1年間の振り返りと今後の課題について		
教科書・参考書等	『学生便覧』、『留学生のための就活ガイド』		
授業で使用する機器等	スマートフォン、基礎ゼミ専用ノート(日本語練習ノート)		
予習・復習へのアドバイス	大学では毎日の予習・復習が大事です。		
履修上の注意・受講条件等	授業中は飲食禁止等、マナー(ガイダンスで詳しく説明します)を守るように。		
成績評価の基準等	授業態度および出席50%、課題・試験50%		
メッセージ	誘惑に負けないで、就職準備の一環とする毎日の予習・復習も頑張ってください。		
オフィスアワー	掲示を確認して下さい。		
その他	就職支援の能村先生による特別講義を後期期間中に予定しております(日程が決まり次第連絡します)。 次のステージへの準備として「人間性」と「能力」(資格等)を磨いて下さい。		